

新体制で新年度スタート

令和2年4月24日に予定していた第二地区住民自治協議会 定期総会は長野市内の新型コロナウイルス感染症の広がりを踏まえて中止にしました。代えて常任評議会（区長と団体長）での議決を目指しましたが、感染症が更に拡大したため、常任評議員の書面評決に変更し、すべての議案について全会一致で可決されました。

過酷な船出となりましたがご承認いただいた新体制で新年度の活動を進めてまいりますので皆様方のご協力をお願いいたします。

会長		寺島 頼利	箱清水区長				
副会長	総務	早川 良一	淀ヶ橋区長	監事	福井 一彦	前 湯谷団地区長	
	広報	小林 俊彦	大門町区長		湯本 浩行	前 東之門町区長	
	会計	小林 昭彦	滝区長	顧問	南波 克彦	前 会長	
部会長	福祉健康	市川 勲	前 湯谷区長	副部会長	福祉健康	高橋 恒雄	新町区長
	環境安全	竹中 保雄	三輪田町区長		環境安全	八木澤 久人	城山団地区長
	教養文化	高山 啓	湯谷団地区長		教養文化	西澤 茂芳	横町区長

会長あいさつ



昨年度は桜花の春、そして「令和への改元」、さらに「ラグビーワールドカップ」でのワンチームの活躍と、明るい未来を信じた出発でした。ところが8月は「前線による九州北部の大雨」、10月には「令和元年東日本台風」で長野市も大きな被害を受けました。その上、2月頃から「新型コロナウイルス感染症」が日増しに広がり、先の見えない恐怖が迫ってきました。そこで日本中「密閉・密集・密接」を避ける対策の啓発活動が推進され、皆さんにおかれましても、今はじつと我慢の日々なのではないでしょうか。次第に世の中の閉塞感が広がり姿の見えないウイルスとの戦争そのものとなってきました。しかし人類は長い歴史の中で多くの試練をのり越えてきています。人として生きることの幸せは、喜びも悲しみも共感・共有できる一体感のある社会生活の中にあるのではないのでしょうか。一日も早くこの危機を終息させ、互いに笑顔で語り合える日を待ちたいものです。

このような過酷な現実の中で、第二地区住民自治協議会も新たな年度を迎え、異例の書面総会にて新体制が発足しました。思えば昨年は、第二地区住民自治協議会10周年の節目を迎えました。今年は、全ての役員が直接顔を合わせることでできない現状ではありますが、この逆境から新たな10年に向けて立ち上がることが使命と噛みしめております。まずは、「地域のことは、その状況がより見える地域に委ねて文化や福祉などの向上を目指す」という住民自治協議会の基本理念の実現に向けて取り組む所存であります。改めて皆様のご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。





令和元年度 決算書

【収入】

大項目	中項目	予算額	決算額
公的補助金	地域いきいき運営交付金	14,136,000	14,136,000
	補助金等	2,450,000	803,169
負担金	地区負担金	2,604,900	2,604,900
諸収入	募金交付金	400,000	326,600
	雑収入	621,907	1,023,246
繰越金	前年度繰越金	2,528,193	2,528,193
繰入金	福祉事業積立金からの繰入	125,000	80,000
収入合計		22,866,000	21,502,108

【支出】

大項目	中項目	予算額	決算額
共通事務費	人件費・備品・保険料他	7,842,000	6,785,246
事業費	総務委員会費	3,320,000	3,006,126
	福祉健康部会費	1,126,000	821,281
	環境安全部会費	575,000	178,049
	教養文化部会費	1,090,000	712,641
配分・委託料	区への配分、団体への補助	8,000,000	8,035,650
予備費		913,000	0
支出合計		22,866,000	19,538,993

収入総額 21,502,108円
 支出総額 19,538,993円
 差引残高（令和2年度へ繰越） 1,963,115円

令和2年度 予算書

【収入】

大項目	中項目	予算額
公的補助費	地域いきいき運営交付金	14,062,000
	補助金等	4,207,000
負担金	地区負担金	2,565,700
諸収入	募金交付金	340,000
	雑収入	439,185
繰越金	前年度繰越金	1,963,115
繰入金	福祉事業積立金からの繰入	122,000
収入合計		23,699,000

【支出】

大項目	中項目	予算額
共通事務費	人件費・備品・保険料他	7,715,000
事業費	総務委員会費	2,570,000
	福祉健康部会費	1,200,000
	環境安全部会費	1,155,000
	教養文化部会費	1,095,000
配分・委託料	区への配分、団体への補助	8,052,000
予備費		412,000
災害等基金		1,500,000
支出合計		23,699,000

収入予算総額 23,699,000円
 支出予算総額 23,699,000円
 差引残高 0円

令和元年度 実施事業・令和2年度 事業計画

	令和元年度の新事業	令和2年度の新事業
1	第二地区住民自治協議会設立10周年事業	新規事業を住民から募集
2	地附山トレッキング愛護会設立10周年事業	隣組の支え合い活動の推進
3	「第二次 第二地区地域福祉活動計画」の策定	「第二次 第二地区地域福祉活動計画」の推進
4	福祉懇談会、福祉アンケートの実施	各区・他地区の好取組の紹介
5	台風19号募金活動、避難所・仮設住宅支援	災害等基金の設立
6	防災士会設立	防災用品の購入
7	城山公民館・他地区との連携事業の推進	





令和2年4月 善光寺東参道歩道カラーリング舗装一部完了



▲北側歩道部分に善光寺への距離を6カ所表示



グリーンにカラーリングされた歩道 ▲東側・西側▶



「善光寺東参道」(善光寺下駅から仁王門まで)の淀ヶ橋区部分について歩道のカラーリング舗装が4月23日に完成しました。

この道は、善光寺の参拝客や西高、清泉、柳中、城山小学校等の学生が通学路として列をなして利用しますが、道幅が狭く交通量も多いことから第二地区住民自治協議会に善光寺東参道活性化委員会を立ち上げ、長年、住民及び行政機関と話し合いを重ねてきました。

今後は、残された区間(新町区と伊勢町区の一部)について、来年の御開帳に向けて、できるところから歩道を整備することになっています。

令和2年3月「第二次 第二地区地域福祉活動計画」策定・承認

地域福祉を推進するための「第二次 第二地区地域福祉活動計画」が、昨年度末に策定・承認されました。

「地域福祉」という言葉は、耳慣れない方も多いかと思いますが、「地域福祉」は、地域の困りごとなどを地域住民のつながりの中で改善・解決する取り組みや、思いやりの活動で、「互助、共助」ともいわれており、普段のご近所付き合いなどがベースになるものです。

計画パンフレットの見開きにある実施事業一覧には、事業それぞれの対象者や内容を記載しています。私たちが住んでいる地域には、年代も状況もお国も違う、様々な人たちが暮らしています。その地域で、お互いに安心して住み続けられるようにという思いで策定されました。具体的な事業や活動等については、今後、回覧や住民自治協議会だよりを通して発信していきます。お住いの区で行われている取り組みや身近な地域での活動にご理解・ご協力頂ければ幸いです。

なお、計画パンフレットは、6月初旬には全戸配布の予定です。

- ※ 令和2年度の事業の詳細については回覧チラシ等をご確認ください。
- ※ なお、新型コロナウイルス感染予防の観点から、中止・延期になる場合があります。お手数ですが、事前に裏面連絡先までご連絡をお願いいたします。



おすすめのお散歩コース紹介



新型コロナウイルスに伴い、外出することが制限されていますが、散歩やジョギングは健康維持のため、空いた時間帯・場所を選び、少人数で行うことが認められていることから、近隣のおすすめお散歩コースを紹介します。

今回は善光寺下駅からスタートし善光寺東参道を通り、城山の南側斜面を登って城山公園の回遊路を一周するアップダウンのコースです。健康維持のため身近な自然を楽しみながらご利用ください。

① スタート地点 長野電鉄「善光寺下駅」…▶ 「シンカイ」さんを右折



② 地蔵庵奥を左折



③ 123段の階段を上ります。



④ 手入れされた素晴らしい枝ぶりの松が並びます。志賀高原・菅平の山並・善光寺平が一望できます。



⑤ 大通りに向かう坂を下り、一つ目の階段を下ります。

⑦ 大きな赤地蔵と石碑群が並んでいます。数年に一度、ベンガラで塗りなおされています。



⑥ 赤地蔵の手前斜面には、お花畑が広がります。

☆わが町おすすめのお散歩コースがありましたら、下記までぜひご連絡をお願い致します。

第二地区のまちづくりにご協力をお願いします

第二地区住民自治協議会 事務局

〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町 2201 番地 20 権堂イーストプラザND1 階
 TEL 262-1263 (FAX兼用) E-mail: dainitiku@energy.ocn.ne.jp



【写真掲載承諾済】